

市民協働推進費・地域活動団体支援事業費に関する評価結果の概要

部課名	市民部 市民協働推進課	事業名	市民協働推進費・地域活動団体支援事業	トピックス	地域コミュニティの課題解決と参加促進
総合評価	一部改善すべき	評価コメント	・これまでの取組は、地域課題解決や地域活動を支援するためのプラットフォームとして機能しており、一定の評価ができるが、これからは、若年層も含めて持続可能な地域活動について考え、全市民にコミュニティ活動への参加、認識を共有していく、新たな一步を踏み出さなければならない状況にあると考える。 ・そこで、オープンイノベーション的な考え方で、これまで培ってきたプラットフォームや知見を活用していくことが必要である。		

改善プログラムにつながる意見

【議論のポイント1】 オープンイノベーションの視点に基づく事業の成果について	コーディネーターによるまとめ	オープンイノベーションが実施可能なプラットフォームは既に備わっているが、目的や指標、成果が見えにくく、活用しきれていない。さらに多くの人に活用してもらうためには、それらを市民と共有する必要がある。
	評価人チーム意見	・地域活動サポートオフィスの事業は、成果指標を具体的に示し、効果を検証する必要がある。 ・市民協働の主な取り組みである、地域活動サポートオフィス、地区協議会、「まちカフェ！」、「寄り合い-The YORIAI-」について、継続することが目的にならないように、振り返りと評価、見直しを毎年行い、市民に公表する必要がある。
【議論のポイント2】 若年層をはじめとした多様な意見を取り入れたコミュニティ活動について	コーディネーターによるまとめ	学校との連携などによって若年層への周知を図るとともに、コミュニティ活動への参加の機会をつくることが重要である。
	評価人チーム意見	・若年層への周知の点では、学生にとって一番のコミュニティである学校と連携するとよい。 ・生徒会活動や探求活動の一環としてコミュニティ活動に取り組んでもらうなどの取組が出来れば、興味を持ってもらえるのではないか。 ・若年層をはじめとした、幅広い世代の方に地域とかかわりを持ってもらうためには、町内会の盆踊りなど、小学生も地域の一員として、地域のコミュニティ活動に参加してもらってはどうか。 ・既存の取組の成果を明確にするため、「まちカフェ！」では、スタートアップ企業をテーマにしたイベントを開催したり、「寄り合い-The YORIAI-」では、高校生からのビジネスアイデアをテーマとするなど、イベントごとに目的を明確にすると良いと思う。
【議論のポイント3】 町田市ならではの全市民に向けたアプローチについて	コーディネーターによるまとめ	広く多くの方に地域コミュニティに関わってもらうためには、既存の優れたプラットフォームを活用して、オープンイノベーションを取り入れた町田ならではの新しい改善策を考えてもらいたい。
	評価人チーム意見	・今後、全市民に地域コミュニティに参加してもらい、充実させていくには、オープンイノベーションが重要なツールになると考える。 ・「まちカフェ！」は開始から5年が経過し、知名度があると思うので、知名度を活かした取組を考えてみてほしい。

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

取組内容の情報発信、実施成果の振返り・検証・改善に取り組みます。

改善プログラム							
No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【サポートオフィスの成果の検証】 町田市の重点事業と改革の取り組みを 定めた「町田市5ヵ年計画22-26」の計 画の見直しと併せて、地域活動サポ ートオフィスの事業の成果を振り返り、現在 の成果指標を見直す。	成果指標 の見直し	—	完了 (2027 年3月)	検討中 (2026 年3月) 【改善進 行中】	「町田市5ヵ年計画22-26」の計画の 見直しと併せて、地域活動サポートオ フィスの成果指標の見直しに向けて 10月から検討を始めた。	
2	【各地区協議会の活動情報の発信】 「まちカフェ！」等のイベントを活用して、 地区協議会の活動内容や成果を発信す ることで、地区協議会の活動の活発化 を促す。	情報発信 を行った イベント数 (年間)	1件 (2025 年3月)	11件 (2026 年3月)	12件 (2025 年12月) 【改善済】	地区協議会全10地区で実施した研究 経過報告会で各地区の「わたしのまち の未来ビジョン」のリーフレットを配 布し、地区協議会の情報発信を行っ た。 また、研究経過報告会の全体会と市 民協働フェスティバルまちカフェ！で、 各地区協議会のPRポスターを掲示し、 活動を周知した。	
3	【効果的なPDCAサイクルの構築】 4つの取組(地域活動サポートオフィス、 地区協議会、まちカフェ！、寄り合い- The YORIAI-)について、振り返り・評 価の手法を見直し、効果的なPDCAサ イクルを構築する。	振返り・評 価手法の 見直し	—	完了 (2026 年3月)	完了 (2026 年3月) 【改善済】	2024年度に目標設定と作業工程の 設定、中間確認時に進捗確認と中間 見直し、年度末確認時に実績の確認 をし、目標設定と作業工程が適切だっ たかを確認するサイクルを構築した。 2025年度より活用している。 これにより、進捗・実績評価プロセス を改善をすることができた。	

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

まちカフェ！や中学生の職場体験等を通して、若年層へのアプローチを強化します。

改善プログラム							
No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【職場体験等の受け入れの拡充】 学校支援センターと連携し、地域活動サ ポートオフィスと地域で活動する団体等 の職業体験の受け入れを拡充する等、 学校を通して若年層がコミュニティ活動 に参加する機会をつくる。	職場体験 等に参加 した延べ 学校数 (累計)	4校 (2025 年3月)	15校 (2027 年3月)	12校 (2026 年3月) 【改善進 行中】	中学校から職場体験では3校を受け 入れ、市内の団体の活動を多くの方 に届けるための取材体験やまちカ フェ！の事務局業務の体験を行った。 まちカフェ！の取材ボランティアを1 校から受け入れた。 さがまちインターシップなどから大学 生を4校受け入れるなど、若年層のコ ミュニティ活動への参加機会を創出し た。	
2	【子どものやってみたいを「まちカ フェ！」で叶える支援】 子どもが「まちカフェ！」へ出展するこ とを支援し、コミュニティ活動を行うこ とを経験してもらう。	子ども発 案の企画 実施	－	実施 (2027 年3月)	検討中 (2026 年3月) 【改善進 行中】	2026年度の「まちカフェ！」での実 施に向け、1月から検討を始めた。	
3	【学生おうえん隊の周知】 市民活動団体へのボランティアでの参 加を支援する事業「学生おうえん隊」を 近隣の大学等へ周知を広く行うことに より、多様な背景を持った学生に地域活 動へ参加してもらい、多様な学生の視点 を地域活動へ取り入れる機会をつくる。	学生おう えん隊に 参加した 学生の所 属学校数 (累計)	9校 (2025 年3月)	13校 (2027 年3月)	20校 (2025 年12月) 【改善済】	「学生おうえん隊」を刷新し、初めての 方も参加しやすい「まちだ地域まるご とキャンパス」としてリニューアルした。 町田市学長懇談会幹事会や「さがま ちコンソーシアム」加盟大学への周知 や、SNSでの発信等、オンライン・オフ ライン双方からの周知を図った。その 結果、2025年度は新たに、11校の 学生に参加していただくことができ た。	

評価結果を踏まえた事業所管課の改善の方向性

多様な背景を持つ方が参加できる取組を実施します。

改善プログラム							
No	取り組み内容	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	実施内容 (2025年度)	実施内容 (2026年度)
1	【多様なアイデアが集まる場の提供】 毎月1回開催している地域活動団体がいつでも交流し学び合える場「まちカフェ！オープンデー」を活用し、地域活動団体だけではなく企業や行政など多様な主体が意見交換を行う機会を創出することで、全市民の地域コミュニティへの参画意欲を増進する。	「まちカフェ！オープンデー」に会場した人数 (累計)	415人 (2024年12月)	1,300人 (2027年3月)	845人 (2026年3月時点)【改善進行中】	月1回の「まちカフェ！オープンデー」が団体間の交流のきっかけや庁内からの協働事業の相談の場となっている。 また、7.8月は「ナイトオープンデー」として夜間に開催することで、普段相談に来られない方々との交流の機会を創出した。その結果、2025年度は430人が会場した。	
2	【「対話の場」の開催】 市が現在取り組んでいる「町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究」との連動企画として、研究の中間報告と併せて地域にお住まいの方や企業、団体等による「対話の場」を開催する。	共同研究と連動した「対話の場」の開催数	－	11件 (2026年3月)	11件 (2025年9月)【改善済】	「町田市における地域コミュニティの未来に関する共同研究」との連動企画として、研究の経過報告会と併せて地域にお住まいの方や企業、団体等による「対話の場」を11件開催した。	
3	【「まちだづくり応援基金」の周知】 町田で活動する方、町田で暮らす方、町田に想いのある方が、町田市内でまちだづくりに取り組む個人、団体のチャレンジを応援する「まちだづくり応援基金」を周知し、志を応援しあうまちを目指す。	寄付した人数・団体数(累計)	35人・団体 (2024年12月)	120人・団体 (2027年3月)	105人・団体 (2026年3月時点)【改善進行中】	HP・広報まちだ・各種講座などで事業周知を行った。HPにはインターシップ生による助成団体のインタビュー記事を作成し、団体の「志」を広く感じていただけるよう工夫した。 また、「町田市 5ヵ年計画 22-26 2024年度の取り組み結果」にもコラムを掲載した。その結果、2025年度は70人・団体が寄付した。	

4